

ナンバリング	B④08	科目名	音楽表現演習Ⅲ		担当教員	明大木曾福松 石澤村我中井 ちづる桂琴直 現る子子子
ディプロマポリシーとの関連性	①	担当形態	クラス分け・単独			
テキスト	ギターコース：「新ギター教本」ギタララ社 共通テキスト：「こどものうた100」チャイルド社 適宜、楽譜や資料を配布する		単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期 前期
講義概要 ■到達目標 ピアノやギターによる伴奏を弾きながら「こどものうた」を豊かに表現し、保育で応用する技術が身につく。保育における音楽の役割や日本のこどものうたの歴史、乳幼児と楽器とのかかわりについて理解し、説明できる。また、独奏曲の演奏を通して、それぞれの楽器の特性を生かした演奏法か?身につく。						
■授業の概要 保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およびピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高め、豊富なレパートリーをもとに応用できることを目的として、少人数によるグループ授業を行う。また、保育における音楽の役割、打楽器の奏法などについて実技を交えて解説する。歌唱や弾き歌いの技術習得、独奏曲の実技試験、音楽理論の筆記試験を実施する。						
■授業計画 第1回 オリエンテーション 保育における音楽の役割 第2回 季節の歌 第3回 行事の歌 第4回 生活の歌 日本のこどものうたの歴史 第5回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い① 第6回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い② 第7回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い③ 第8回 コード進行を使った伴奏法および弾き歌い④ 第9回 伴奏パターン④ 第10回 伴奏パターン⑤ 第11回 乳幼児期と楽器—打楽器の特徴と奏法 第12回 学生と教職員によるコンサートの参加と鑑賞 第13回 独奏曲 第14回 独奏曲・リハーサル 第15回 実技発表・まとめ						
■準備学習 ・授業前に、必ず実技の課題に関する自己練習をしておくこと。 ・終了した課題曲に関しても日常的に復習をして、レパートリーの蓄積をすること。						
■評価方法 ・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 — 70% ・授業内の取り組み — 30%						
参考文献	「幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育」教育芸術社 「こどものうた200」チャイルド社 「続こどものうた200」チャイルド社 「保育者・教師をめざす人、集まれ!みんなピアノだい好き!」 全音楽譜出版社 「マンガでわかる楽譜入門」誠文堂新光社		特記事項	・単位修得には10曲以上の課題曲達成が必要となる。継続的に自己練習を行うこと。 ・免許・資格の取得を希望する場合、必ず履修すること。 【課題等へのフィードバック方法】 発表に対しては、適宜コメントをする。		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択		幼保	領域に関する専門的事項 保育の内容・方法に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容						